



越前町
ECHIZEN

2011. 8 . 1
vol.25

議会だより



織田地区区民体育祭

平成23年6月12日(日)
於:織田中央公園グラウンド

おもな内容

- ☆ 6月定例会報告 2
- ☆ 一般質問 3
- ☆ 議会活動 7



宮崎地区区民体育祭

平成23年6月12日(日)
於:宮崎総合運動場

発行・越前町議会 発行責任者・議長 北野正勝 編集・議会広報特別委員会
〒916-0192 福井県丹生郡越前町西田中13-5-1
TEL (0778) 34-8712 ・ (0778) 34-8726

六月定例会報告

招集 6月21日
会期 3日間
(21日～23日)

議案審議結果

次の議案が審議され、
全て原案どおり可決され
ました。

- ① 報告…4件
- ② 議案…4件
- ③ 意見書…1件
- ④ 発議…4件

ることについて(越前町
税条例の一部改正につ
いて)

東日本大震災による被
災納税者の実情を考慮す
るため、地方税法の一部
を改正する法律が公布さ
れたことに伴い、個人住
民税の雑損控除の特例や
住宅ローン減税の適用等
の特例を定めるもの

②議案(抜粋)

予 算 関 係

○平成23年度越前町一般
会計補正予算(第3号)

《補正額》
1億5,784万4千円
(予算総額)
125億9,757万8千円

歳出の主なもの

○議会一般事業
地方議会議員年金制度
の廃止に伴う財源の公費
負担

《補正額》

3,892万4千円

◎総務費

○安心で潤いのあるまち
づくり事業
越前地区内の危険な空
き家の取り壊し費用に対
する補助と跡地をポケッ
トパークとして整備する
工事費

◎民生費

○大震災被災者支援事業
東日本大震災の被災者で、
本町へ避難している方へ
の見舞金、被災市町村等
への義援金

◎農林水産業費

○競争力のある福井米づ
くり事業
福井米振興方針・コシ
ヒカリの食味ランキング
「A」評価の確保のための
支援を行なう

◎土木費

○認定農業者や認定生産
組織、農業法人、生産組織
等の機械、施設を導入す
る場合に助成する

《補正額》

2,721万5千円

◎有害鳥獣対策事業

イノシシ・シカの両方
に効果的なネット柵設置
の支援

◎民生費

○有害鳥獣対策事業
イノシシ・シカの両方
に効果的なネット柵設置
の支援

◎農林水産業費

○認定農業者や認定生産
組織、農業法人、生産組織
等の機械、施設を導入す
る場合に助成する

◎土木費

○認定農業者や認定生産
組織、農業法人、生産組織
等の機械、施設を導入す
る場合に助成する

《補正額》

530万円

◎土木費

○町単独道路改良事業
町道大樟道口線災害防
除工事

◎民生費

○町単独道路改良事業
町道大樟道口線災害防
除工事

◎農林水産業費

○町単独道路改良事業
町道大樟道口線災害防
除工事

◎土木費

○町単独道路改良事業
町道大樟道口線災害防
除工事

《補正額》

300万円

◎民生費

○町単独道路改良事業
町道大樟道口線災害防
除工事

6月定例会

一般質問

越前町における医療費の動向と今後の展望について



山本 清道

問

平成17年2月1日の合併時に国民健康保険特別会計は旧4町村が応分の基金を持ち込み基金総額は4億4,000万円余りと承知しているが、現在この基金の残高はどれだけか。また、その基金はどのような分野に流用され、平成23年度以降の基金はどのように捻出するのか伺う。

答

町長 ご指摘のように基金は合併直後、4億4,368万3,000円ございましたが、22年度末において1億9,918万

7,000円という状況であります。そして、23年度末においては2,240万円の基金残高になる見込みです。そこで、まず19年度から22年度で、2億5,673万2,000円の取り崩しをさせていただきました。これは、国保事業の特別会計の繰入金として使わせていただきました。

問

厚生労働省の調べによると後期高齢者医療保険料は、2010年を100とした場合、2015年には11%の上昇、介護保険料においても、2010年を100とした場合、2015年には32%の上昇となると予測している。そこで伺います。福井県の後期高齢者医療の保険料額及び越前町の介護保険料額の2015年のそれぞれの予想額はどのようなのか。

また、越前町の特別会計で計上されている国民健康保険事業特別会計、介護保険事業特別会計は年々、その支出額は増加の傾向にあり、財政が圧迫されていると思うが収支健全化のための対応をお聞きする。

答

町長 まず後期高齢者の保険料ですが、2015年に制度が変わり、75歳

以上の人は、被用者保険と国民健康保険に入るようになるようで、国民健康保険の場合には、一人当たり6万3000円くらいと推定しております。次に介護保険料については、現在は4400円で健全に運営されていますが、認定者も増えておりますし、制度や報酬も変わりますので、2015年の予測値を推定することは難しいと思っております。

答

町長 越前町においては20年度には受診率が急に落ちまして、190名で受診率が5.1%、それから21年度にはそれが380名に増えてまして、受診率は10.05%、それから22年度には406名に増えており、受診率は11.54%です。いずれにしても非常に低い受診率であります。それは高齢者の87%が主治医を持っていて病院を受診しているというようないことが原因で受診率が増えないのではないかと伺います。今後、越前町以外の病院においても健診が受けられるようになったことと、受診料が無料化になったために、受診率も向上していくのではないかと予測しております。

問

後期高齢者医療制度の開始とともに、75歳以上の高齢者の健康診断の受診率が大幅にダウンしており、福井県に

後期高齢者医療制度の開始とともに、75歳以上の高齢者の健康診断の受診率が大幅にダウンしており、福井県に

原子力発電に対する 町長の所見について



山野 幹夫

動を前に危機管理の甘さから核燃料を交換するための炉内中継装置を原子炉内に落とす始末で、とても安心・安全とは言えず、私はもんじゅの再稼動には絶対反対であります。

問 いまだ収束の見通しが立たない東京電力福島第一原発事故は、越前町にとっても他人事ではなく、福井県でも平成7年に起きたもんじゅ火災事故は記憶に残っています。

当時、旧越前町議会ではいち早く事故隠しや情報遅れを追及し、原子力の安全面や補償問題について勉強し国や関係機関へ何度も足を運び風評被害の補償、交付金、準立地としての扱いを要求し認められた経緯があります。その、もんじゅも再稼

や県に働きかけていきたくて思っています。脱原発なのか原発政策に依存なのか町長の所見について伺います。

答 町長
旧越前町議会の取

組みについては、非常に敬服しているところであり、電源交付金・核燃料税も含めましてそうした交付金が越前町に来るといふことについては、旧越前町議会のご努力のおかげとっております。

現在の原子力発電の発電量は総発電量の約30%を占めており、日本のように資源エネルギーが乏しい国においては、やはり原子力発電というのは基幹電源として大変重要ではないかと思えます。

福島原発の事故以来、準立地協議会を開催し国や県、関係機関に対して、原因究明と正確な情報の開示など8項目の要望をさせていただきました。防災を考えたときに、越前地区は非常に厳しい自然環境でありますので、

トンネルを掘るようなことも必要ですが、今具体化するのには難しい状況であります。今後、防災計画を見直していく中で避難場所の設置、避難道路のこと等々考えていきたくて思っております。

新年度一般会計当初 予算案と町コミュニティセンターに関する 条例改正について

問 3月議会定例会に上程された平成23年度一般会計予算の庁舎改修工事設計管理委託料の中に平成24年度に実施を予定している庁舎の設計管理委託料が含まれていました。

地方公共団体の予算は、単年度主義であり、例外措置として継続費や繰越明許債務負担行為といった手続を踏むこととなっております。本来計上すべき予算ではなかったのではないのでしょうか。

このことから、当初予算については当然議会で

して認めるものではなく、今回修正動議を提出しました。

答 町長

また、越前町コミュニティセンターの設置及び管理に関する条例の全部改正においても、第19条でコミュニティセンターの管理代行として地方自治法の規定により町が指定するものにセンターの管理を行なわせることができるとの条文が含まれていましたが、本来町が設置しているセンターを指定管理により第三者へ管理委託することが妥当かどうかの議論も踏まえ、町民の理解が得られていない中で、議会としても時間をかけて議論していただきたかったと思っております。

このことから、指定管理に係る条文関係についても修正動議を提出しました。

今回、これら2議案について、地方公共団体の意思決定機関である議会の全会一致による修正が可決されたことに、町長はどのように思っていますか。

条例の改正につきましては、やはり議会の皆様方の意見、或いはご提案を踏まえて、柔軟な姿勢で議論、検討をこれから重ねてまいります。いづれにいたしましても、町政の運営にいたしましては、議会の皆様方に説明責任を十分果たして、審議を通して議会とのコンセンサスを得るというところにこれから努めてまいります。

平成30年福井国体ホッケー チームの強化対策について



笠原 秀樹

問 福井県は、平成30年に国体の開催が決定しており、本町ではホッケー競技が開催されることに正式に決定されたところである。

団体ホッケー競技で好成績を残すためには、少年男女、また成年男女の選手強化が今後の問題である。

少年男女、成年男女とも福井国体では開催県として出場できると思うが、ホッケーの町として強いチームで戦う姿を町民の皆さんに見ていただきたいと思う。お願いするのは私だけではないと思う。

今後行政や民間団体が一体となって取り組む課題であると思うが、町長の考えをお伺いする。

答

町長

ご指摘のように、この5月に福井県は第73回国体の開催県として内々定を受け、6月には本町がホッケー会場として正式に内定を受けました。この8月には県競技力向上対策本部を設け、国体選手の育成強化についての協議を始めるというところでございます。

越前町はホッケーの町として、従来から小・中学生はもとより、丹生高校のホッケー部を中心に選手の育成強化に努めてまいりました。

現在、具体的に選手の育成強化といたしましては、県のホッケー協会が行なっている優秀指導者

招聘事業というのがございます。外国人のコーチを招聘いたしました。丹生高校のホッケー部の選手を中心に、ジュニア選手の育成強化に努めているところですよ。

町といたしましても、こうした国体開催を契機に、教育委員会内に競技力向上対策本部を設けまして、議会の皆様を初め、ホッケー関係者、あるいは体協、越前スポーツクラブ、父兄代表、丹生高校のOB、ホッケーOBの皆さんのご意見をお伺いしながら町全体としての機運を盛り上げてまいりたいと考えておりますので、ぜひご理解、ご協力をお願いいたします。

問

丹生高等学校の存在の危機について

本年の丹生高等学校の受験希望者が定員割れになったことに関し、同校の存続に大きな不安を抱いた人は少なくないと思う。一人でも多くの生徒たちから志望校として認めていただけるように、

魅力ある学校にしなければならぬと考える。

今や丹生高校のホッケーチームは、全国レベルの学校になつていますが、スポーツに限らず他の高校のように進学クラスがあるにもかかわらず、志望者が少ないことはどこかに原因があるのではないかと。

町内の中学校はもろろんのこと、近隣の中学校にもぜひ丹生高校を志望していただくよう働きかけをしていく必要があると思うが、教育長の考えを伺う。

答

教育長

丹生高校は現在、各学年5クラス、411名の生徒が在学をいたしております。そのうち越前町出身の生徒は291名で全体の71%を占めており、町内唯一の高等教育機関としてなくてはならない歴史と伝統のある学校でございます。

しかしながら、今年の丹生高校へは募集定員147名に対し132名の

の入学者となり、15名の定員割れとなりました。

この原因として考えられることは、丹生高校の生徒が、日々、真剣に取り組んでいる様々な活動や、今年3月に1期生が卒業した中・高一貫の連携クラスを含めた、最近の丹生高校全体の実績が地域住民に十分届いていないというところではないかと考えております。

今年の丹生高校の大学への進学状況は、卒業生130名のうち国公立大学へ15名、私立大学へは47名、専門学校へ36名の計98名が進学をいたしております。

部活動においては、ホッケー以外でも野球や弓道などもめざましい活躍をしております。

町としましては、青雲特待生という奨学金制度の見直しをはじめ、町内中学校と丹生高校との人的交流の拡大など丹生高校活性化のために様々な事業を展開しているところであります。

丹生高校も今年度から

中学校、地域、保護者からの信頼を増幅するため生活指導の強化、補習授業の拡大、さらには、近隣市町の中学校への入学勧誘のための早期訪問と訪問頻度の拡大など、新たな取り組みにチャレンジしてまいります。

結局のところ、丹生高校の自助努力、越前町のバックアップ、そして町民の皆様のサポート、この三者が一体となって丹生高校活性化のためにしっかりと取り組み、その実績や成果をできるだけ多くの町民に、正確かつ丁寧にお届けすることが丹生高校の将来にとって最善の方法ではないかと考えているところであります。



ホッケー競技 ジュニア選手

越前町食育推進計画の 成果について



木村 繁

問 平成22年度までの5カ年計画で取り組まれた国の食育推進基本計画の成果について、平成23年版食育白書では十分な成果が上げられていないとの報告がなされております。

計画の中で目標値を掲げた9項目の内、目標を達成したのはメタボリックシンドロームの認知割合、食育推進関係ボランティア数の2項のみで、報告書の中で特に問題視されて

いるのは、食品の安全性に関する基礎的な知識を持つ人の割合です。60%以上を目標にしていますが、実際には45.7%から37.4%と大幅に下落をしています。

本年度から始まる第2次食育推進基本計画では、家族で食卓を囲む「共食」の回数増加などを加え、11項目の目標値を設定し、食品の安全性に関する基礎的な知識を持つ人の目標値は90%以上に引き上げたとあります。

当町では、平成18年3月に地産地消食育推進計画を策定しています。その計画において、「食に関する学習の推進」、「地産地消の推進」、「安全で安心な農林水産物の供給の推進」、「健全な食生活と健康増進の推進」の4項目を目標に掲げています

が、その主な指標の達成度並びに第2次基本計画に向けての方向性と食育に対する町長の所見をお伺します。

答 町長
平成17年7月の食育基本法制定後、越前町地産地消食育推進協議会が設立され、18年度から22年度の5カ年計画で越前町地産地消食育推進計画が策定されました。

議員がおっしゃるよう4項目の基本的な施策を進めてきた結果、食育推進についての学習は町内12小・中学校で100%実施されています。

また、21年11月と22年11月の2回の調査によりますと、地場産食材の使用については、51.3%から54%に増え、使用品目については33品目から37品目に増えておりまして、県下でそれぞれ2位、1位の高い率を閉めています。

地域特産品の生産振興に努めるとともに、学校給食の統一メニューの導入ということによって、安全で安心な顔の見える食材の供給体制が確立されたこと、それから残留農薬の検査、有機肥料の使用の推進などによって、安全・安心な農林水産物の供給体制が確立できたということでありまして。

更に、アンケート調査を行った結果、食育の必要性、あるいは理解度については、97%の人が肯定的な回答を寄せております。

食育はやはり健全な心身の育成、或いは豊かな人間性の環境を育てる意味で基本的に非常に大事なことであると認識しております。

2次基本計画についても1次基本計画の方向性を継承していきながら、特にメタボリックシンドロームの予防対策、こういうことについても今後力を入れていきたいと考えております。

景観条例の制定と 推進について

問

東日本大震災において、岩手、宮城、福島に存在する美しい景観が一瞬にして破壊された地域があると推察されます。

当町においても、越前海岸、宮崎地区の切妻や白漆喰の町並み、劔神社を中心とした門前町など、町外に誇れる風景があり、全国的にも景観保護に対する取り組みが進んでおります。

越前町総合振興計画の後期基本計画では、景観条例の制定の具体化を検討中とありますが、その進捗状況と今後の方向性について、町長の所見をお伺いします。

答

町長

残念ながら越前町におきましては景観に対する取り組みが非常に遅れておりまして、ほとん

ど進捗しておりません。

現在、条例制定に向けて、基礎的な資料の収集、作成、それから景観まちづくりについての広報啓発活動、そうしたことを行っている状況であります。

景観条例を進めていく上で問題になることは、住民生活に非常に影響を及ぼす土地や建物に対する規制の問題がありまして、財産権にも影響してきますので、まずはアンケート調査をして、住民の皆さんの意見を収集する必要がありますと考えています。

幸いにも越前町には宮崎地区に伝統的に景観を大事にするという意識がございますし、また観光産業を振興する上でも景観というものは非常に共有の財産であるという観点から、すぐれた景観の形成、保護のため、ぜひ積極的に景観条例の制定に向けて取り組んでまいりたいと考えております。

農地災害専決処分の現場踏査

6月定例会会期中、平成23年5月10日～11日にかけての豪雨で被災のあった、三崎生活改善センター後方の農地・農業用施設災害復旧工事に係る現場踏査を実施しました。

なお、専決処分に係る工事費は、補正で625万5千円計上されました。
又、この災害で三崎生活改善センターが一部被災しており、三崎区によりセンター再建における支援要望書が町と議会に提出されています。



三崎生活改善センター

日本原子力発電(株)に問う



日本原子力発電(株)の説明

6月議員月例会で、福島第一原発事故後初めて日本原子力発電(株)の説明を聞きました。事故の状況からその後の対応等の説明を聞いた後、議員から敦賀発電所と同様の事故が起きた場合の対応や越前町がどうなるのかなどの質問がなされました。

6月議会定例会で「原子力発電安全対策特別委員会」が設置されたので、今後は原子力発電の安全性や防災対策などについて審議をし、町民の皆様様に報告をしていきたいと思えます。

町議会議員研修会

7月4日 福井県自治会館

講師 福井県町村議会議長会

総括参事 伊藤 浩氏

地方分権一括法が制定されてから、議会の権限が大きくなると同時に全国の各地方議会では、議会活性化を図る動きが活発化してきています。本町でも6月定例会において、議会活性化特別委員会を設置いたしました。

この研修で学んだ「求められる議会の役割」について十分に検討し、議会制民主主義の充実、発展に資するために努力していきたいと思えます。

●陳情を採択し意見書を提出●

■安心・安全な地域社会
づくりと農業の発展に
向けた陳情

越前丹生農業協同組合並びに農政連丹生支部から提出された陳情は、6月定例会において採択され、国の関係省庁や福井県選出の国会議員等に意見書を提出しました。



陳情書を受け取る様子

《意見書の内容》

1. 原発への安全対策及び非常時の対応指針等の確立
2. 食料の安全保障や食料自給率向上を図ることを目的とした戸別所得補償制度の充実ならびにTPPなど国際貿易交渉のあり方の見直し
3. エコ農産物に対する消費拡大を目的とした県産農産物のブランド力強化対策
4. 農山村地域の安全確保と農業生産の安定確保のための鳥獣・病害虫による被害対策の強化
5. 農村・地域コミュニティを守る対策としての一体的な農業・農村政策の構築

吉村前議長に感謝状

福井県町村議会議長会から議長在職中の功績を称えられ、吉村春男議員に感謝状が贈呈されました。



吉村春男議員

自治功労賞 受賞

このほど、上杉力議員・山野幹夫議員・武藤吉明議員に全国町村議会議長会自治功労賞の表彰状伝達式が行なわれました。

この表彰は、議会議員として15年以上在職している議員が議会活動を通して、地方自治の振興発展に大きな役割を果たしてきたことに対するものです。



上杉力議員



山野幹夫議員



武藤議員

第37回越前 陶芸まつり

5月28・29・30日恒例の陶芸まつり開催。

なんと37回目となり、今や福井県の観光祭典に定着している。今回の歌謡ショーゲストの橋幸夫さんは長年の開催に敬意を示されながら、初めての出演依頼に戸惑いとげん顔だったようだ。

初日は小雨にて何とか日和が取れたが日曜日は大雨強風のためテントをたたむ所もあったが、近年に珍しい悪天候にもめげず、例年にさほど大きく変わらない入場者数は継続された伝統の強みか。



歌謡ショー



にぎわうまつり会場



越前消防団操法大会



ポンプ車操法 優勝 宮崎地区第1分団

越前消防団操法大会が6月26

日に鯖江・丹生消防組合消防署丹生分署（下河原）で開催されました。

大会には町内消防団員184名が参加し、ポンプ車操法の部8チーム、小型ポンプ操法の部4チームにより、競技が行なわれ、出場した消防団は日頃の訓練の

成果を競い合いました。

また、競技終了後、福井県消防操法大会（7月23日に開催）に出場する越前地区第3分団の操法披露が行なわれました。

《成績結果》

ポンプ車操法の部

- 優勝 宮崎地区第1分団
 - 第2位 朝日地区第5分団
 - 第3位 織田地区第6分団
- 小型ポンプ操法の部
- 優勝 宮崎地区第5分団



海の安全と 豊漁を祈願

豊漁を祈願

7月1日、厨地区の長須浜海水浴場で、海開き神事と豊漁祭が行われました。海開き神事では、花束を海に投げ入れシーズン中の盛況と安全を祈願しました。また、豊漁祭では、参加者によりヒラメの稚魚千匹が放流されました。

越前夏まつり

2011

7月16日、厨アクティブランドグラウンドで、越前夏まつり2011が開催されました。越前中学校の生徒が企画した催しを始め、ふるさとステージや新作水着ショー、盆踊りなど多彩な企画で終始盛り上がりました。フィナーレを飾る花火大会では、「天空のオーケストラ」をテーマとする約1万

発の花火が日本海の夜空を彩り訪れた人々を魅了しました。



中学生企画「わんこそば早食い」

9月議会の傍聴をしてみませんか

日程については、議会事務局にお問い合わせください。TEL34-8712

編集後記

〈頑張れ 日本〉

大震災から1000日、まだまだ復旧が進まず、被災地においては生活の苦しさが見られます。とりわけ原発事故の終結にめどが立たず毎日の新聞紙面を埋めています。人体に例えれば傷ついた日本の肩口に悪性癌の病巣が見つかり摘出手術に苦慮している状態であり、他の部位への転移が心配され、各地において原発施設の点検からエネルギー施策の見直しが喫緊の課題となつていきます。議会としても原発安全対策特別委員会を設置し、あつてはならぬ有事の備えと未然の防止に努めます。また議会活性化特別委員会により、議員定数問題や議会の透明度アップを進めます。私たち編集員はその一翼を担い期待に添うべく頑張ります。

（黒田）

議会広報特別委員会

- 委員長 上坂昭夫
- 副委員長 橋本守行
- 委員 吉村春男
- 北瀬良春
- 鈴木文夫
- 武藤吉夫
- 笠原秀樹
- 黒田文男